

## 下北ジオパークちぢり浜ジオサイトの活性化策を考えるグループワークを開催

青森県立むつ高等技術専門校を中心とする「ものづくりでまちづくり実行委員会」では、6月30日(水)の午後から第2回会議を開催しました。会議の前半は、ちぢり浜ジオサイトフィールドワークに参加して気付いたことや感じたことについて、木造建築科の訓練生全員に発表してもらいました。その後、会議の後半は実行委員のみなさんと訓練生がワークショップを開催し、「ちぢり浜ジオサイトの自然を守りながら、ジオサイトの新たな魅力をみんなで考えよう！」ということについて、ワールドカフェ方式のグループワークを行いました。



ワークショップでは4つのグループに分かれ、委員の皆さんは市民としての思いを訓練生に伝えたりしました。また、訓練生はちぢり浜ジオサイトで行ったフィールドワークを通して感じたことやこれから取り組んでみたいことを委員の皆さんへ伝え、最後にグループごとの成果を発表して全体で内容を共有しました。今回実施したグループワークでは、次のステップとして、フィールドワークやグループワークで見つ

けた素材やアイデアを編集しながら、ちぢり浜ジオサイトでの問題や課題について具体的に考え、ジオサイトを訪れた方がくつろげるような施設・設備を提案して地域の活性化やまちづくりにつなげていきたいと思えます。

ものづくりでまちづくり実行委員会では7月30日(金)の午前10時30分から第3回会議を開催しました。会議の前半は前回のグループワークで出された意見を7つのカテゴリーに分け、「ちぢり浜への案内看板」「東屋・ちぢり浜展望台」「ベンチ」「自然の家散策コース」「チェンソーアート」「ちぢり浜の魅力」「その他」の分野について、事務局からそれぞれの意見を振り返りとしてみなさまに説明をしました。



ワークショップでは4つのグループに分かれ、委員と事務局のみなさんにはグループファシリテータになっていただき、それぞれのテーブルで実行委員会として実施できる取り組み活動をしぼり、『①東屋・ちぢり浜展望

台について設置する場所や構造物の形状』、『②散策ベンチ』の設置場所』などについて、フィールドワークで見て感じたことや前回のアイデア出しの会議での意見を思い出しながら、事業のコンセプトにつながるような話し合いを行い、最後は訓練生がグループごとの成果を発表して全体で内容を共有しました。



今まで行ってきた会議やフィールドワークで互いに顔見知りとなったことで、第3回会議のグループワークで感じたことは、「多くの訓練生が、楽しみながら伸び伸びと意見を述べている様子が見られた」「発表を聴く姿勢などから、他者の持つ意見に興味を持って聴けている訓練生が前回のグループワークより多く感じられた」「他者と協働することのたいへんさを学ぶことができたり思考を深めることのできた」時間となりました。参加した訓練生からは「自分の

意見を述べられるようになってよかった」「他人の意見を受け入れられるようになった」「考えるのが楽しかった」「チームで協力してできたので楽しかった」「他の人のアイデアを聞いてみて、自分と違うものがあるとおもしろかった」など、自分にはない考え方を知ることに関心を持った訓練生もいました。

これらの感想から、事業を通じて、訓練生自身に様々な「気付き」があったことをたいへん嬉しく感じるとともに、多くの方と関わり合う際に必要な力は、やはり人と人との間で育っていくものであることを再認識することができました。訓練生が少しずつ変わっていく様子や自己評価の結果からも、こういった地域活動を重ねていくことは、訓練生のコミュニケーション能力の育成と社会人になるための基礎力に有効であると実感しました。

